

# 宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和5年7月27日発行

## 1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾 病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	26 週	27 週	28 週	29 週	警報レベル		注意レベル
	6月26日 ~ 7月2日	7月3日 ~ 7月9日	7月10日 ~ 7月16日	7月17日 ~ 7月23日	開始基準値	収束基準値	基準値
水痘	0	0	0	0	2	1	1
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
感染性胃腸炎	6 3.00	4 2.00	14 7.00	4 2.00	20	12	-
手足口病	19 9.50	14 7.00	16 8.00	15 7.50	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	0	0	1 0.50	-	-	-
ヘルパンギーナ	21 10.50	13 6.50	20 10.00	20 10.00	6	2	-
インフルエンザ#	0	0	0	0	30	10	10
新型コロナウイルス感染症#	22 7.33	19 6.33	46 15.33	32 10.67	-	-	-
咽頭結膜熱	3 1.50	0	1 0.50	3 1.50	3	1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	0	0	0	8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
RSウイルス感染症	0	0	0	0	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

## 2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況)

◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	-	○	-
備考		新型コロナウイルス感染症	

### \*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

## 3. 栗原支所から

### 【全数報告疾病】

3類:腸管出血性大腸菌感染症 男性1名  
※全数報告疾病...すべての医師から届け出が必要な疾病

### 【定点把握対象疾患】

- ・新型コロナウイルス感染症は前週より4.66名減少し10.67名です。
- ・感染性胃腸炎は前週より5.00名減少し2.00名です。
- ・手足口病は前週より0.50名減少し7.50名となりましたが、「警報レベル」継続中です。
- ・ヘルパンギーナは前週と同数の10.00名であり、「警報レベル」継続中です。

### 【集団発生情報】

高齢者施設において新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。PPE等の必要物品の在庫確認・補充、平時からの感染対策(手洗い、手指消毒、換気、PPE着用等)及び陽性者発生後のゾーニングについて再確認しましょう。

### 【感染症コラム ~咽頭結膜熱~】

- ・アデノウイルスが原因の小児の急性ウイルス性感染症であり、主に夏期に流行します。
- ・発熱、頭痛、食欲低下、だるさとともに、のどの痛み、結膜炎(結膜充血、眼痛、羞明、流涙、眼脂)が現れ、3~5日間程度持続します。
- ・主な感染経路は、飛沫・接触感染で、結膜や上気道から感染します。プールを介した場合には、汚染した水から結膜へ直接感染すると考えられています。
- ・流行時は、うがいや流水・石鹸による手洗いをし、予防に努めましょう。一般的な消毒用エタノールの消毒効果は弱いため、次亜塩素酸ナトリウムの使用や、煮沸消毒をお勧めします。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班  
☎0228-22-2117 ☎0228-22-7594  
HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>